# 鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令の改正について

令 和 6 年 6 月 経 済 産 業 省 鉱山・火薬類監理官付

## 1. 改正の背景

### (1) 火薬類取扱所に係る改正

デジタル臨時行政調査会(会長:内閣総理大臣)において、「目視規制」や「定期検査・点検規制」等の代表的な7項目のアナログ規制について、デジタル原則に適合させるための見直しが進められ、第6回デジタル臨時行政調査会(令和4年12月21日)において「デジタル原則を踏まえたアナログ規制の見直しに係る工程表」が取りまとめられた。これを受け、令和6年3月に開催された中央鉱山保安協議会において、鉱山保安法令に関する規制について、見直しを要する条項とされた計21項目(目視規制6、定期検査11、常駐専任3、書面掲示1)の対応方針について審議した。この結果を踏まえ、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令の一部について改正を行うもの。※見直しが必要な条項については、本省令の改正に加え、鉱山保安法施行規則の改正、通知文による解釈の明確化により対応する。

# (2) 掘削バージに係る改正

船舶に関する2つの国際条約(AFS条約(2001年の船舶の有害な防汚方法の規制に関する国際条約)、MARPOL条約(1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書))が改正され、船舶に使用される塗料や燃料中の硫黄分についての基準が改正されたことから、国土交通省は、船舶に関する関連規定を改正した。

今般、船舶と同様に海中で使用される掘削バージについても、これら2つの国際条約 改正に対応するため、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令の一部について 改正を行うものである。

### (3) 条ずれ等に係る改正

鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令において引用している他法令で条項の番号がずれる等の改正(施行済み)があったこと、また、日本産業規格 Z 1 6 0 1 において、貯蔵タンクに係る名称変更があったことを踏まえ、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令の一部について改正を行うものである。

# 2. 改正の概要

### (1) 火薬類取扱所に係る改正

鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第40条(火薬類取扱所)に掲げる「見張人」は、デジタル技術の活用等により見張人の業務と同等以上の措置を講じる場合は、見張人の配置は免除できるよう改める。

# (2) 掘削バージに係る改正

AFS 条約の改正(2023年1月発効)により、船舶塗料へのシブトリンの使用が制限されたため、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第18条第7項第2号で定める掘削バージの防汚方法にシブトリンの使用をしないことを追加する。

また、MARPOL 条約の改正(2020年1月発効)により、船舶燃料油中の硫黄分の基準が強化(上限値を3.50質量百分率から0.50質量百分率に引き下げ)されたため、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第18条第7項第4号で定める掘削バージで使用する燃料油の硫黄含有率が0.5質量百分率を超えないものとするように改める。

# (3) 条ずれ等に係る改正

大気汚染防止法、大気汚染防止法施行規則、瀬戸内海環境保全特別措置法、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令において条項の番号がずれる等の改正 (施行済み)があったことにより、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第5条第3号の2、同条第3号の3、同条第11号、同条第21号、第6条第3項における条ずれ等の修正を行う。また、同省令第35条第2項第3号イにおいて「日本産業規格Z一六〇一(液体用鋼製ドラム)」を「日本産業規格Z一六〇一(鋼製タイトヘッドドラム)」と改める。

# ○経済産業省令第四十一号

鉱 Ш 保安法 (昭和二十四年法律第七十号)第十一条第一項及び第十二条の規定に基づき、 鉱業上使用する

工作物等の技術基準 を定め る省令の 部を改正する省令を次のように定める。

令和六年六月二十八日

経済産業大臣臨時代理

国務大臣 新藤 義考

鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令の一部を改正する省令

鉱業上使用する工作物等の 技術基準を定める省令(平成十六年経済産業省令第九十七号) の <u>ー</u> 部を次 のよ

うに改正する。

次  $\mathcal{O}$ 表により、 改正 前欄に掲げる規定の傍線を付した部分は、 これに順次対応する改正後欄に掲げる規定

の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後 改 正 前

四~十 [略]	定方法によること。	染防止法施行規則第十六条の十九第一号の測	三の三 前号の水銀濃度の測定方法は、大気汚	ال ال	第十八条の二十七の排出基準に適合している	「水銀濃度」という。)は、大気汚染防止法	出される排出物に含まれる水銀等の量(以下	三の二 水銀排出施設の排出口から大気中に排	一~三 [略]	ために満たすべき基準は、次のとおりとする。	第五条 鉱山等に設置される施設が鉱害の防止の	(鉱害の防止)
四~十 [略]	定方法によること。	染防止法施行規則第十六条の十二第一号の測	三の三 前号の水銀濃度の測定方法は、大気汚	الاراد	第十八条の二十二の排出基準に適合している	「水銀濃度」という。)は、大気汚染防止法	出される排出物に含まれる水銀等の量(以下	三の二 水銀排出施設の排出口から大気中に排	一~三 [略]	ために満たすべき基準は、次のとおりとする。	第五条 鉱山等に設置される施設が鉱害の防止の	(鉱害の防止)

条第一項に規定する汚濁負荷量は、それぞれ	準に適合していること。
第一項及び湖沼水質保全特別措置法第二十三	汚濁防止法第四条の五第一項又は第二項の基
排出する坑水又は廃水に係る同法第四条の二	一項に規定する汚濁負荷量は、それぞれ水質
坑廃水鉱山等」という。)から公共用水域に	項及び湖沼水質保全特別措置法第二十三条第
境省令で定める規模以上のもの(以下「特定	する坑水又は廃水に係る同法第四条の二第一
る鉱山等であって同法第四条の五第一項の環	水鉱山等」という。)から公共用水域に排出
に規定する特定施設に該当する施設を設置す	令で定める規模以上のもの(以下「特定坑廃
区域において、水質汚濁防止法第二条第二項	山等であって同法第四条の五第一項の環境省
八年法律第百十号)第五条第一項に規定する	定する特定施設に該当する施設を設置する鉱
又は瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和四十	において、水質汚濁防止法第二条第二項に規
二十三条第一項に規定する総量削減指定地域	二十三条第一項に規定する総量削減指定地域
する指定地域及び湖沼水質保全特別措置法第	する指定地域及び湖沼水質保全特別措置法第
十一 水質汚濁防止法第四条の二第一項に規定	十一 水質汚濁防止法第四条の二第一項に規定

十二~二十 [略]

二十一 海洋施設から排出される油は、海洋汚

染等及び海上災害の防止に関する法律施行令

(昭和四十六年政令第二百一号)第十条に定

める排出方法に関する基準(掘削バージにあ

出基準)に適合していること。ただし、次のっては、同令第一条の九第二項に規定する排

いずれかに該当する場合における油の排出に

ついては、この限りでない。

イ・ロ [略]

水質汚濁防止法第四条の五第一項若しくは第

一項又は瀬戸内海環境保全特別措置法第十二

条の三第二項の基準に適合していること。

十二~二十 [略]

-----田

二十一 海洋施設から排出される油は、海洋汚

染等及び海上災害の防止に関する法律施行令

(昭和四十六年政令第二百一号)第十条に定

める排出方法に関する基準(掘削バージにあ

っては、同令第一条の八第二項に規定する排

出基準)に適合していること。ただし、次の

いずれかに該当する場合における油の排出に

イ・ロ [略]

ついては、この限りでない。

- 4 -

指定湖沼を定める政令、水質汚濁防止法施行規	一条の四の改正又は湖沼水質保全特別措置法第
、湖沼水質保全特別措置法第二十三条第一項の	昭和四十六年総理府、通商産業省令第二号)第
法施行令(昭和六十年政令第三十七号)第五条	湖沼を定める政令、水質汚濁防止法施行規則(
第二条若しくは第三条、湖沼水質保全特別措置	沼水質保全特別措置法第二十三条第一項の指定
法施行令 (昭和四十八年政令第三百二十七号)	行令(昭和六十年政令第三十七号)第五条、湖
しくは第四条の二、瀬戸内海環境保全特別措置	しくは第四条の二、湖沼水質保全特別措置法施
令(昭和四十六年政令第百八十八号)第一条若	令(昭和四十六年政令第百八十八号)第一条若
3 前条第十一号の規定は、水質汚濁防止法施行	3 前条第十一号の規定は、水質汚濁防止法施行
2 [略]	2 [略]
第六条 [略]	第六条 [略]
(規制基準等の変更に係る経過措置)	(規制基準等の変更に係る経過措置)

基準は、次のとおりとする。	7 掘削バージが鉱害の防止のために満たすべき	2~6 [略]	第十八条 [略]	(掘削バージ)	4 [略]			なった日から六月間は、適用しない。	については、当該鉱山等が特定坑廃水鉱山等と	により新たに特定坑廃水鉱山等となった鉱山等	三条第二項の指定地域の指定若しくはその変更
基準は、次のとおりとする。	7 掘削バージが鉱害の防止のために満たすべき	2~6 [略]	第十八条 [略]	(掘削バージ)	4 [略]	等となった日から六月間は、適用しない。	山等については、当該鉱山等が特定坑廃水鉱山	変更により新たに特定坑廃水鉱山等となった鉱	法第三条第二項の指定地域の指定若しくはその	)第一条の四の改正又は湖沼水質保全特別措置	則(昭和四十六年総理府、通商産業省令第二号

五[略]	五 [略]
のであり、かつ、無機酸を含まないこと。	のであり、かつ、無機酸を含まないこと。
黄の含有率が三・五質量百分率を超えないも	黄の含有率が○・五質量百分率を超えないも
四 掘削バージにおいて使用する燃料油は、	四 掘削バージにおいて使用する燃料油は、硫
三[略]	三 [略]
0	していないこと。
超える有機スズ化合物を使用していないこと	超える有機スズ化合物又はシブトリンを使用
おけるスズの含有率が○・二五質量百分率を	おけるスズの含有率が○・二五質量百分率を
)においては、塗料が十分に乾燥した状態に	)においては、塗料が十分に乾燥した状態に
物の付着を抑制し又は防止する方法をいう。	物の付着を抑制し又は防止する方法をいう。
処理若しくは装置を用いて掘削バージへの生	処理若しくは装置を用いて掘削バージへの生
二 掘削バージの防汚方法(被覆、塗料、表面	二 掘削バージの防汚方法(被覆、塗料、表面
一[略]	一 [略]

[i	司	<u>〜</u> ッ	は、	イ	三	 • 	0	2 燃料油	第三十五条	気が、気が	8 [略]
等以上の性能を有する容器であること。		ドドラム)に適合するもの又はこれと	日本産業規格2一六〇一(鋼製	貯蔵量が二百リットル以下の貯蔵タンク	貯蔵の方法は、次によること。	[略]		燃料油貯蔵所については、次のとおりとする	[略]	における燃料油貯蔵所及び燃料給油所)	
	ること。	これと	(鋼製タイト	タンク				とする 2	——— 第	油所)	 8
上の性能を有する容器であること。		ドラム) に適合するもの又はこれと同等以	は、日本産業規格2一六〇一(液体用鋼製	イ 貯蔵量が二百リットル以下の貯蔵タンク	三 貯蔵の方法は、次によること。	一•二 [略]	•	燃料油貯蔵所については、次のとおりとする	第三十五条  [略]	(坑内における燃料油貯蔵所及び燃料給油所)	[略]

これと同等程度に盗難及び火災を防止する	り、コンクリートブロック造り又はこれと
ート造り、コンクリートブロック造り又は	場合を除き、平家建の鉄筋コンクリート造
置する場合を除き、平家建の鉄筋コンクリ	置し、又はこれと同等以上の措置を講ずる
イ 火薬類を存置するときに見張人を常時配	イ 火薬類を存置するときに見張人を常時配
と。	と。
二 火薬類取扱所の建物の構造は、次によるこ	二 火薬類取扱所の建物の構造は、次によるこ
一[略]	
とする。	とする。
2 坑外の火薬類取扱所においては、次のとおり	2 坑外の火薬類取扱所においては、次のとおり
第四十条 [略]	第四十条 [略]
(火薬類取扱所)	(火薬類取扱所)
3 [略]	3 [略]

置するときに見張人を常時配置する場合を除	置するときに見張人を常時配置し、又はこれ
八 火薬類の盗難を防止するため、火薬類を存	八 火薬類の盗難を防止するため、火薬類を存
三〜七 [略]	三〜七 [略]
二 [略]	二 [略]
	じられていること。
置が講じられていること。	つ、錠を使用する等の盗難防止の措置が講
し、かつ、錠を使用する等の盗難防止の措	に適当な厚さの鉄板を張ったものとし、か
の外面に適当な厚さの鉄板を張ったものと	以上の措置を講ずる場合を除き、その外面
きに見張人を常時配置する場合を除き、そ	きに見張人を常時配置し、又はこれと同等
ハ 建物の入口の扉は、火薬類を存置すると	ハ 建物の入口の扉は、火薬類を存置すると
口 [略]	口 [略]
	できる構造であること。
ことができる構造であること。	同等程度に盗難及び火災を防止することが

4•5 [略]	4 • 5 [略]
) した。	、適切な警鳴装置が設けられていること。
合を除き、適切な警鳴装置が設けられている	はこれと同等以上の措置を講ずる場合を除き
類を存置するときに見張人を常時配置する場	類を存置するときに見張人を常時配置し、又
所には、火薬類の盗難を防止するため、火薬	所には、火薬類の盗難を防止するため、火薬
七 坑口の付近に設置された坑内の火薬類取扱	七 坑口の付近に設置された坑内の火薬類取扱
一~六 [略]	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
か、次のとおりとする。	か、次のとおりとする。
ハ及び第三号から第七号までに定めるもののほ	ハ及び第三号から第七号までに定めるもののほ
3 坑内の火薬類取扱所においては、前項第二号	3 坑内の火薬類取扱所においては、前項第二号
九 [略]	九 [略]
	な警鳴装置が設けられていること。
き、適切な警鳴装置が設けられていること。	と同等以上の措置を講ずる場合を除き、適切

この省令は、公布の日から施行する。	附則	備考 表中の [ ] は注記である。	